



# 3. 岡崎市が取り組む水辺空間を 活かしたまちづくり

生態系グループ  
研究員 阿部 充

## 本日の話

1. 背景
2. 検討の経緯
3. 整備メニュー
4. 特徴、そして今後の課題

# 乙川リバーフロント地区

## = 中心市街地

### 90年代以降、大規模店舗・集客施設の相次ぐ撤退

1998年(H10)	ジャスコ	移転
2001年(H13)	岡崎メルサ	閉店
2003年(H15)	岡崎スポーツガーデン	閉鎖
2004年(H16)	名鉄岡崎ホテル	閉館
2010年(H22)	松坂屋岡崎店	閉店
2011年(H23)	セルビ	閉店

また、市内郊外に大型商業施設が立地

# 中心市街地がにぎわいを失う



岡崎市全域と中心市街地の小売年間販売額の推移  
人口減少や高齢化も同傾向

公益財団法人 リバーフロント研究所





## 乙川の水辺空間

都心部の貴重なオープンスペースとして素晴らしいポテンシャルをもつ。  
しかし、イベント以外はあまり使われて  
ない。



# 水辺空間 × 歴史文化



# まちづくり、賑わいづくり

公益財団法人 リバーフロント研究所

## 経緯

### H25年度

#### 乙川リバーフロント部会

- ・乙川リバーフロント地区整備において、解決すべき課題を洗い出し、整備の方向性を考える。6回開催。
- ・NPO、建築、地元商店会、地元企業、観光、タウン誌編集者、行政等により構成。多方面からの意見を提案する。

#### 乙川リバーフロント懇談会

- ・乙川リバーフロント部会が岡崎市に対しての提言案をまとめるに際して、有識者から助言をいただく場。3回開催。
- ・乙川リバーフロント部会員に国土交通省、愛知県等のアドバイザーを加え構成。

#### 乙川 River Front アイデアコンクール

- ・小中学生を含む広範な市民から多様な意見を集めるため、作文、イラストによるアイデア募集を実施。2,500通の応募。

#### 基本方針策定のための提言書

- ・「乙川リバーフロント部会」が、部会・懇談会を通して行われた検討結果を提言書として市へ提出。
- ・行政において取り組む課題、乙川リバーフロント部会で引き続き検討を進めていく課題、官民が一体となって実現に向けて取り組むべき課題について整理。

#### 乙川リバーフロント地区整備基本方針の策定

- ・提言書及び市内各地の市民対話集会、講演・シンポジウムでの市民との意見交換、アイデアコンクールを基に、広範かつ長期的な検討を踏まえて決定。
- ・乙川リバーフロント地区の整備は基本方針に基づき取り組む。

### H26年度

#### 市民アンケート

- ・「乙川リバーフロント地区整備計画案」をもとに、当該地区の整備のあり方に関して意見を収集し、今後の検討に役立てることを目的とする。
- ・アンケートは、岡崎市民を中心とする岡崎市乙川・岡崎城周辺地区の来訪者を対象に実施。

#### 乙川リバーフロント推進部会

- ・乙川リバーフロント地区を、岡崎市民の多くが日常的に訪れ、憩い、楽しむことができ、市民の幸福度の向上とこの地への誇りの醸成を実現できる場所とすることを最大の目的とする。5回開催。
- ・建築、NPO、地元商店会、タウン誌編集者、ライター、地元住民、観光協会、行政により構成。前年の部会から発展

#### 乙川リバーフロント地区整備基本計画検討

- ・乙川リバーフロント地区整備の基本方針(H25年度)を踏まえ乙川リバーフロント地区整備基本計画を作成。

#### 社会資本整備総合交付金申請資料作成

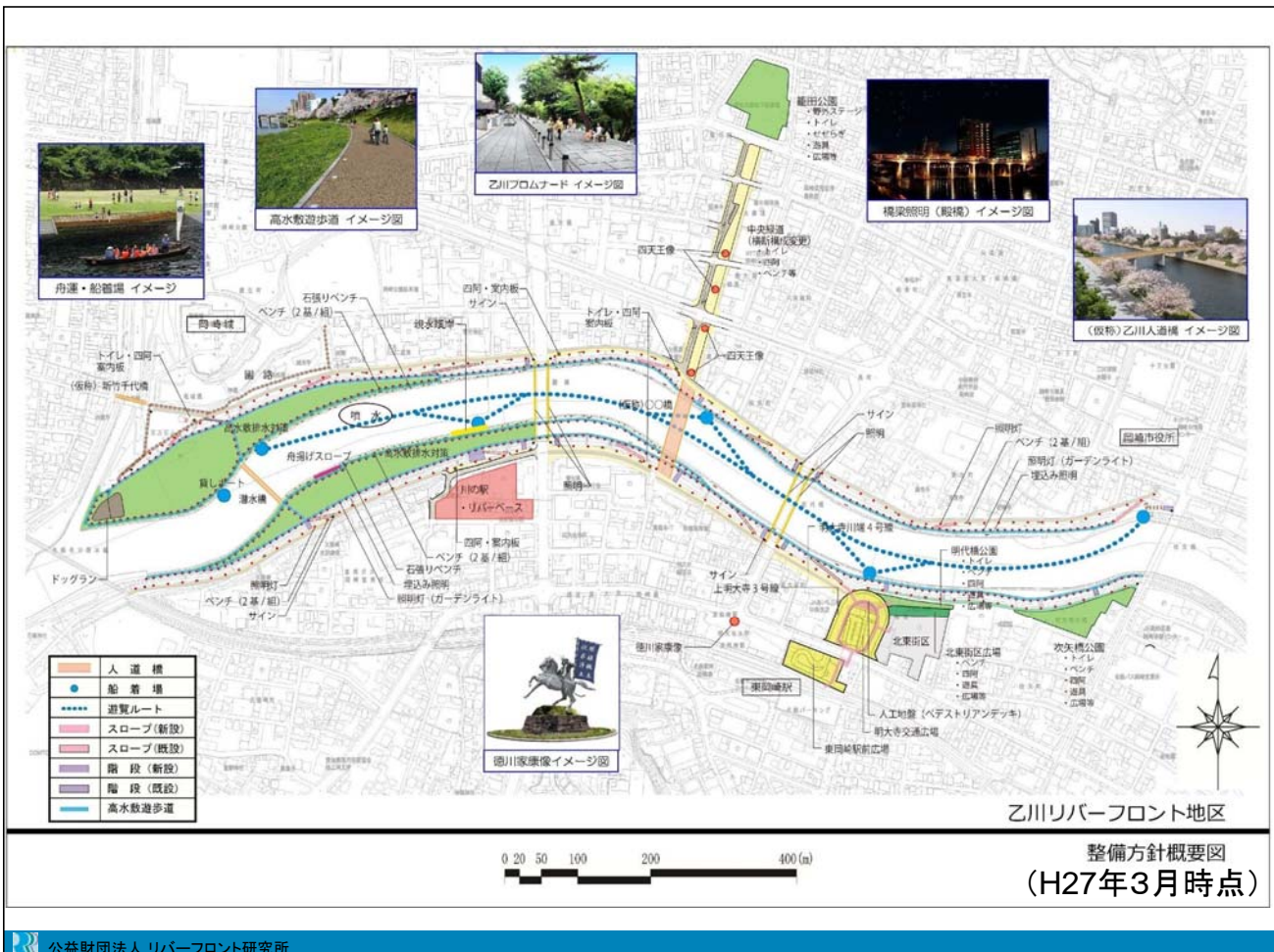
- ・H27年度以降の事業着手に向け、「社会資本整備総合交付金」の予算要求を行う。予算要求に必要な「社会資本総合整備計画及び都市再生整備計画」を作成。

#### かわまちづくり計画作成

- ・「かわまちづくり」支援制度の登録に向け、「かわまちづくり計画」を作成。

# 乙川リバーフロント地区 整備計画

公益財団法人 リバーフロント研究所

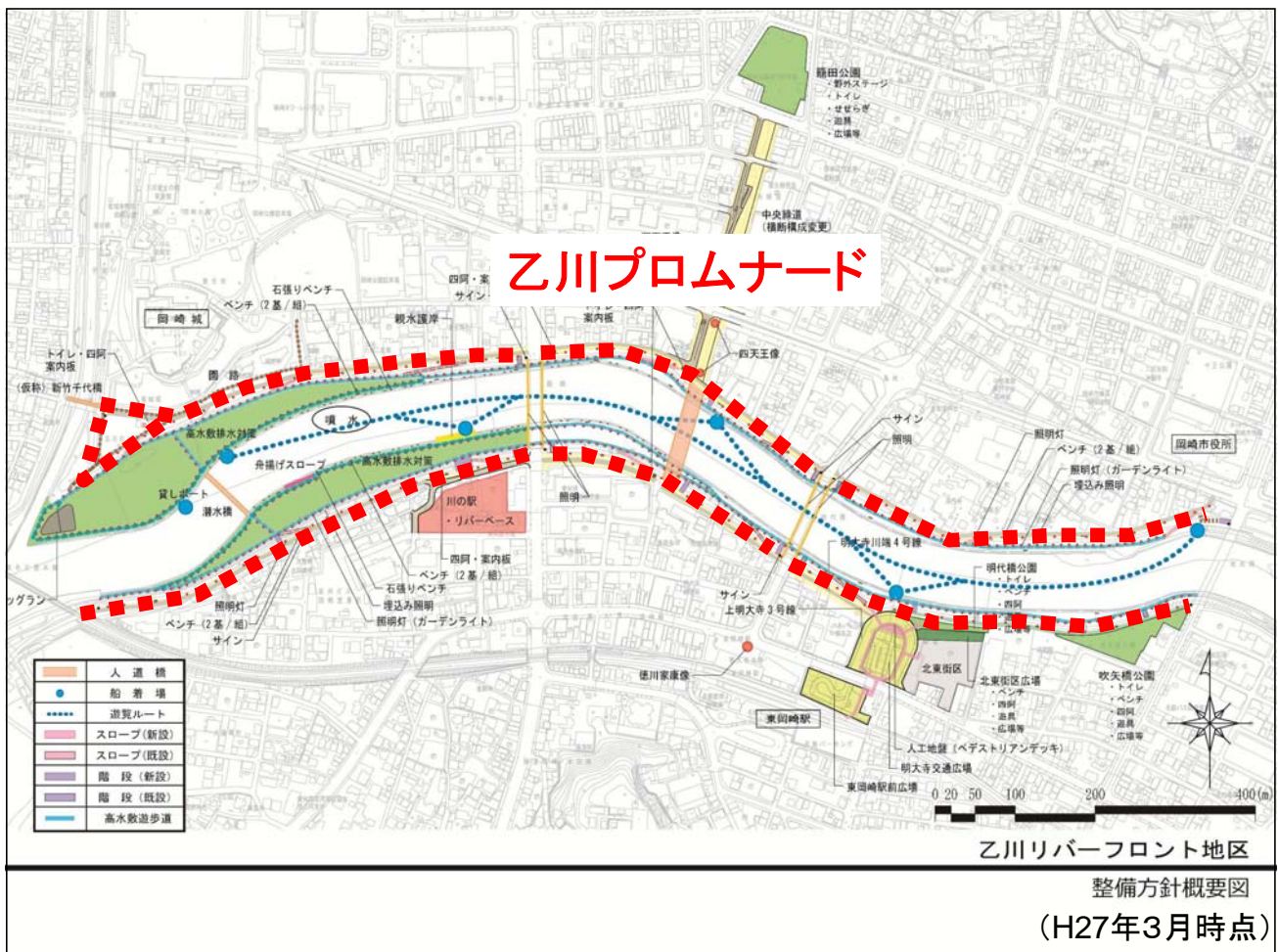


公益財団法人 リバーフロント研究所





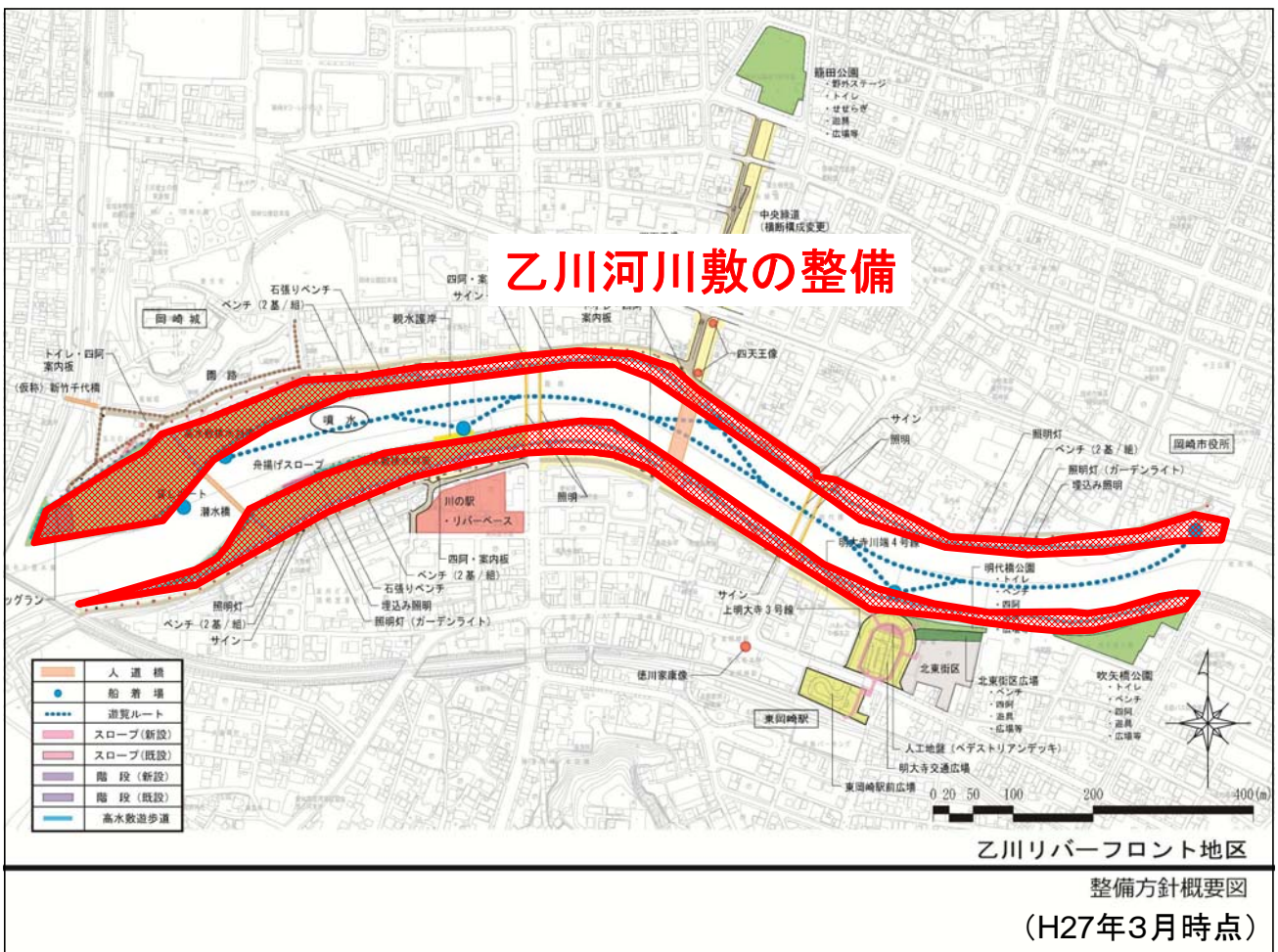








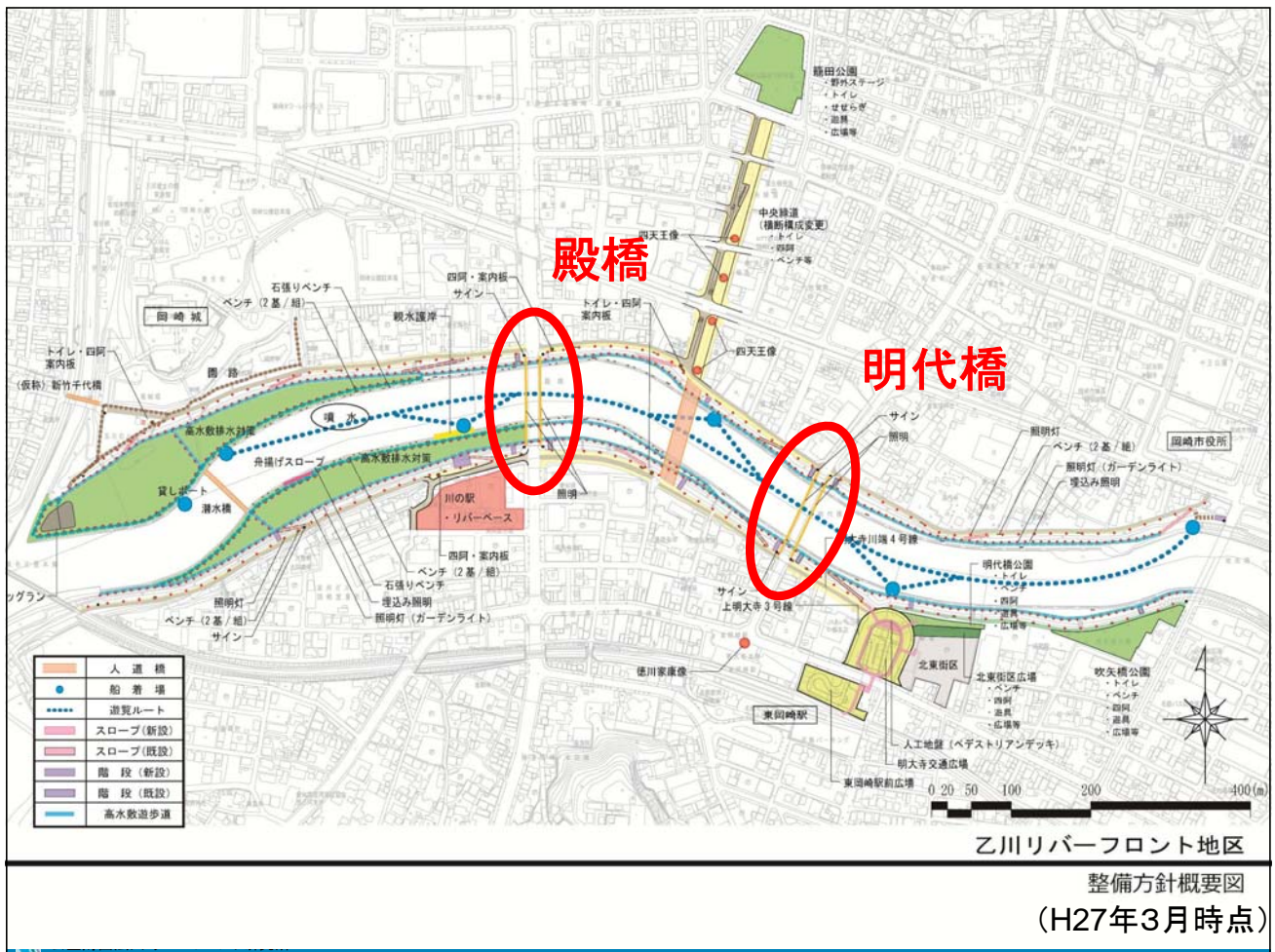
(H27年3月時点)



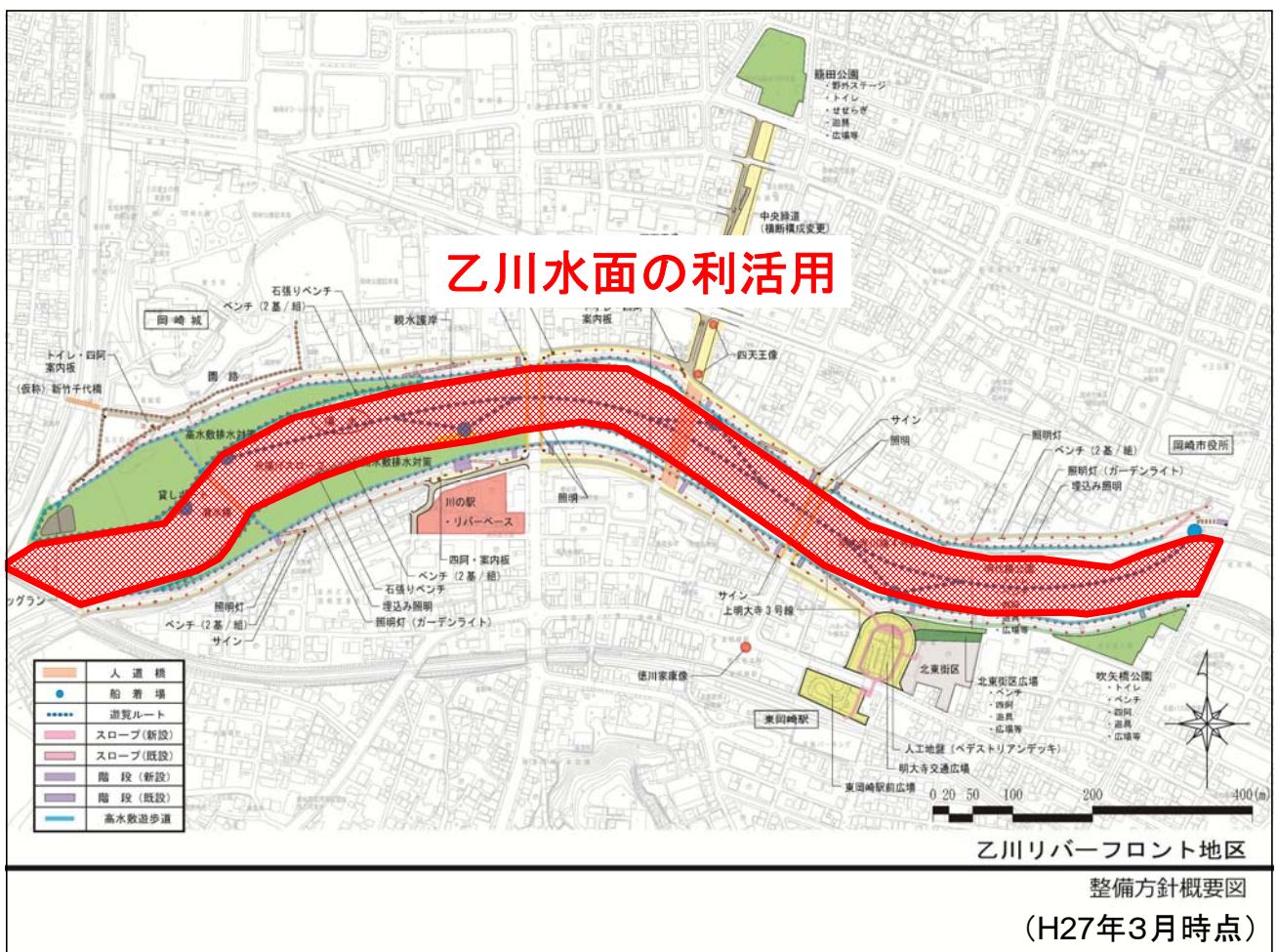














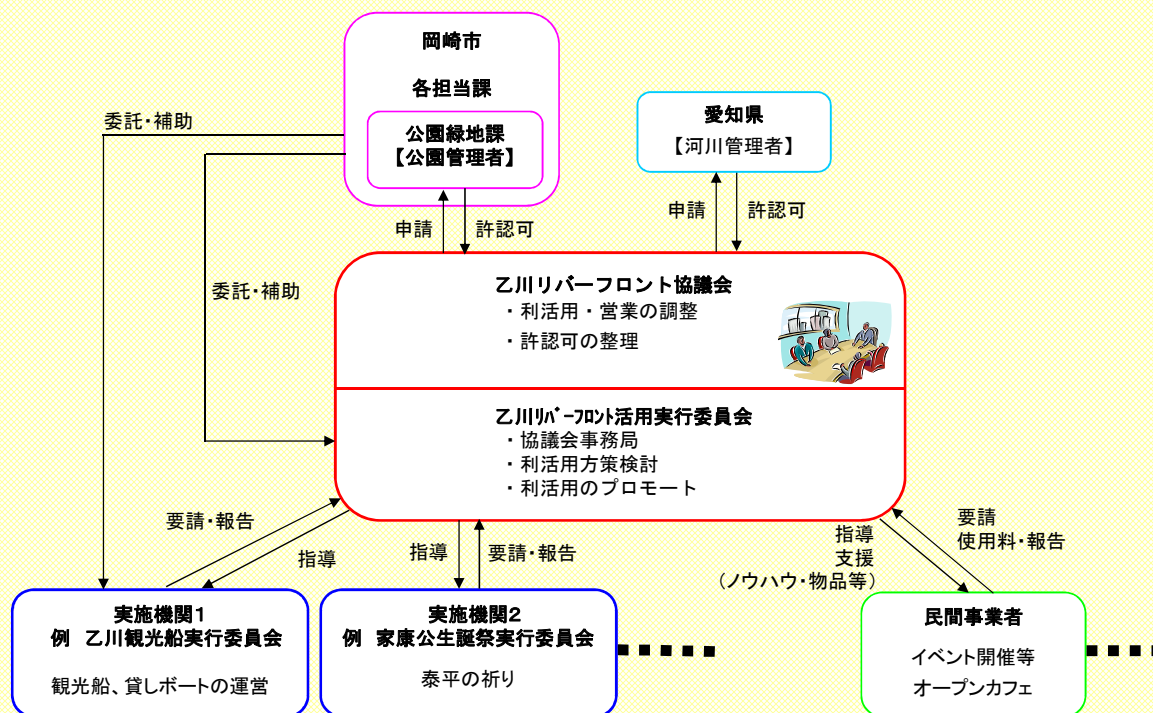
# 観光遊覧船



(H27年3月時点)



# 事業スキーム(案) - 2015年3月時点 -



公益財団法人 リバーフロント研究所

## 取り組みの特徴

### ①官民連携による計画策定

2年で事業着手というスピード感

### ②多彩な事業メニュー

まちに面した河川のオープンスペースを有効活用

### ③民間が中心となって運営

公益財団法人 リバーフロント研究所



## 乙川リバーフロント地区のこれからと課題

### ステップ1

賑わいの源となるハードを整備する

- ・河川管理者との調整(占用手続き)
- ・詳細設計

### ステップ2

市民・来訪者自らが楽しみ、使い倒す

### ステップ3

市内外に向けて広くアピールする

- ・実運用にむけたスキームの構築(占用手続き)
- ・ルールの設定
- ・市民、民間参加のムーブメント

### ステップ4

みんなで育てていく